

平成 29 年度第 2 回高幡地域アクションプランフォローアップ会議 議事概要

日時：平成 30 年 2 月 8 日（木） 14：00～16：30

場所：須崎市総合保健福祉センター 2 階 会議室

出席：委員 20 名中、13 名が出席（代理出席 2 名含む）

議事：(1) 地域アクションプランについて

- 1) 高幡地域アクションプランの進捗状況等について
- 2) 平成 30 年度高幡地域アクションプラン（案）について

(2) 産業成長戦略について

- 1) 第 3 期産業振興計画 ver. 3 の改定のポイント（全体まとめ）について
- 2) 移住促進分野の取組状況について
- 3) 「志国高知 幕末維新博」第二幕の展開及びポスト幕末維新博について

議事 (1) (2) について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）

議事については、すべて了承された。

※意見交換概要（以下、意見交換部分は常体で記載）

(1) 地域アクションプランについて

（森光委員）

施設園芸のためのハウスを建設する際、新規就農者が少ない資金で施設が建てられるよう、補助条件の緩和を検討してほしい。

（池田委員）

施設園芸のレンタルハウスの事業費が非常に高額である。「今後規模を拡大していきたい」という農家にとって非常にハードルが高いため、基準の見直しをお願いしたい。

（森田地域産業振興監（高幡地域本部））

要望があったことを担当部局に申し伝える。

(No.7 梶原町産キジ肉の生産・販売の拡大)

（長山委員）

キジの事業を継続しながら、来年度はイノシシ・シカ等、ジビエの取り組みも計画している。ジビエを梶原町の中心産業にするためにどうしていくか、行政とともに検討してゆく。

(No.16 「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進)

（細木委員）

作業道の開設を請け負ってくれる建設業者が地域内におらず、入札が不調に終わるケースがある。このままでは、事業を縮小する可能性も出てくる。

(二宮須崎林業事務所長)

利益率の低い作業道や林業専用道の整備は業者に敬遠される状況になっている。いかにコストや作業時間等を低減させるか、など今後も知恵を出し合いながら一緒に事業を進めさせていただきたい。

(No.38 清流と風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感！～観光集客アップ作戦～)

(谷脇委員)

天狗高原の集客も増え、人気も出ている。しかし1年中というわけではないので、在来の観光スポットのガイド養成やモデルコースの設定などにさらに注力し、観光客への対応を強化しようと考えている。施設の整備等と併せて、今後も県の力をお借りしたい。

(2) 産業成長戦略について

(武田委員)

四万十町出身の偉人「谷干城」の銅像のお披露目を3月29日に行う予定。幕末維新博・第二幕では谷干城の取り組みが四万十町のメインとなる。

(竹内代理)

高幡地域、また高知県全体で観光ルートを開発するなどの取り組みが必要ではないか。

(森田地域産業振興監(高幡地域本部))

高幡地域では広域の観光体制が進み始めた。また、県でも観光創生塾を含め、各地域で観光のための支援策を行っている。しかし、今後も磨き上げを必要とする観光資源はまだまだあると思うので、地域の方々にご協力いただきながら、発展にむけて引き続き取り組んでいきたい。

(長山委員)

高知県への観光客は増加しているが、高知市への来客が多く、他の市町村にはなかなか広がらない。高知市と比べ、梶原町をはじめ他市町村では観光情報が一元化されておらず、受入や情報発信の修練不足が課題。あらためて「観光」の定義を見直すためにも、県に支援をお願いしたい

(谷脇観光政策課長補佐)

周遊を促進して滞在日数を延ばす等、県内各地域への誘客に取り組んでいるので、今後も協力をお願いしたい。

(以上)